

科 目 名	感情・人格心理学
単 位	2
教 員 名	長谷川 晃
授 業 概 要	パーソナリティと感情の定義や分類・測定方法を概観し、また、実際に各構成概念を測定する質問紙に回答することを通して、感情・人格心理学における基本的な考え方を身につける。さらに、パーソナリティや感情を対象とした理論や研究の代表例を概観し、パーソナリティの個人差がなぜ生まれるのか、感情がどのような理由で生じ、どのような影響を及ぼすのか、パーソナリティや感情をどのようにしたら変容できるのかについても学習する。
授業の目的・到達目標	<p>授業の目的：</p> <p>感情・人格心理学の中で採用されている定義、分類方法、および測定方法について学んだ上で、パーソナリティの形成過程、感情の喚起起序や認知と行動に及ぼす影響、パーソナリティや感情の変容方法などについて、重要な研究結果を概観しながら学習する。</p> <p>到達目標：</p> <p>パーソナリティや感情の定義・分類・測定方法について理解した上で、パーソナリティや感情の代表的な理論がどのような研究結果から導かれたのか説明できるようになる。</p>
授 業 計 画	<p>第 1 回 パーソナリティとは① まずは自分自身のパーソナリティを測定してみよう</p> <p>第 2 回 パーソナリティとは② そもそもパーソナリティとは何か</p> <p>第 3 回 類型論① 人間のパーソナリティのタイプ分け</p> <p>第 4 回 類型論② 血液型と性格は関係ない？</p> <p>第 5 回 特性論① パーソナリティを測るものさし</p> <p>第 6 回 特性論② ものさしはいくつ必要なのか</p> <p>第 7 回 パーソナリティを規定する遺伝と環境① 双生児法の理論的背景と研究結果</p> <p>第 8 回 パーソナリティを規定する遺伝と環境② 赤ん坊にも個性がある</p> <p>第 9 回 中間試験 解説を含む</p> <p>第 10 回 感情心理学の基礎① 感情の定義とその分類</p> <p>第 11 回 感情心理学の基礎② 感情が起きるメカニズムとその影響</p> <p>第 12 回 感情の特性論① 特性論の観点から見た感情</p>

	<p>第 13 回 感情の特性論② マインドフルネストレーニングの実際</p> <p>第 14 回 対人魅力 他者から見られたパーソナリティ</p> <p>第 15 回 まとめ</p> <p>定期試験</p>
予 習・復 習	<p>予習：</p> <p>次回の講義テーマについて確認しておく。</p> <p>復習：</p> <p>各授業では、それまでの授業内容が踏まえられていることを前提とする。授業で配布した資料を復習し、十分に理解した上で次の授業に臨むこと。欠席した回の授業内容については、各自で自主学習をしておくこと。</p>
成績評価の基準	<p>評価方法：</p> <p>中間試験 30%、期末試験 30%、授業への参加態度 40%の割合で評価する。授業態度は、毎回の授業内で記入するリアクションペーパー（感想や質問の記入用紙）の内容で判断する。</p> <p>評価基準：</p> <p>以下の点について、どの程度適切に回答できているのかどうかを評価する。①パーソナリティや感情の定義・分類・測定方法について具体的に述べられている。②パーソナリティや感情の代表的な理論がどのような研究結果から導かれたのか具体的に述べられている。</p>
教 科 書	講義内で資料を配布する。
参 考 書	特になし。
備 考・その他	私語や飲食など、授業を妨害しうる行為は厳禁。

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します。赤字の例を消し、黒字で入力をお願い致します。)

科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	感情・人格心理学
時間割	毎週水曜日 1時限目 9時20分開始 10時50分終了
初回の授業日	2021年9月29日(水)
講義室	講義開始前に教務課(東キャンパス本館1階)にてお尋ねください。
注意事項	自動車・原付・自動二輪で通学する際は届出を行ってください。(自動車の場合は、届出の際に任意保険の写しが必要です。) その他、本学の学内規程に準じてください。
授業についての 問合せ	東海学院大学 教務部教務課 Tel:058-389-2200 (平日9時より18時まで (学休日除く))

地 図	
交通アクセス	下記リンクを参照してください。 http://www.tokaigakuin-u.ac.jp/access/